

戦争の結果諸金物の價格騰貴したる爲め今や米國の鑛業及金物業は同國に於て第二位を占むる大宗の商業となれるか近着の紐育コンマーションヤールに據れば米國當業者の大團體は此際倫敦に代り紐育を世界金物の中心市場たらしむべく商務省に對し新運動を開始せりと其趣旨とする處は

米國は銅、鉛、亜鉛の最大生産國たるに國內の消費すら倫敦市場の價格に支配せられ頗る不利を忍へり然るに目下英國政府は金物相場を制限し居れるを以て紐育金物取引所の相場を世界金物價格の標準たらしむべく今日は絶好の機會なり。

と云ふにありされと倫敦か世界金物の中心市場たるは倫敦の相場か紐育よりも高位にありて勢ひ世界の金物業者か倫敦の市價に支配せらるゝに因る左れば紐育にして中心市場たらんには倫敦の相場よりも高値を正當に維持せざるへからず然るに現在亞鉛は船賃保険料を差引くも尙ほ紐育に於けるよりも倫敦に於て高値を唱へ又銅の如きは百封度に付五十仙の運賃及保険料を差引くも尙ほ紐育と倫敦とは一封度に付三十仙餘の値鞘を生せる有様なるのみならず戦後と雖も歐洲に於ける金物の需要は多額なるへきを以て米國當業者の新運動は事實上效果なかるへしと。

●銑鐵拂下許さす 八幡製鐵所は曩に兵器製造に使用の條件を以て、同所製造に係る銑鐵一萬五千噸の拂下けを爲せるより、其の後大阪方面の事業家にして、引續き拂下けを

申請せる向きあるも、製鐵所の能力に限ありて到底其の申請に應ずるを容さず、折柄釜石第三坑區の出鑛に故障ありとの事にて、銑鐵の缺乏益す甚たしく、市價は大阪、東京にて九十圓を唱へ、製鐵所の拂下價額六十二圓五十錢に比し、實に二十七圓五十錢の差を見るに至れり。

●鐵需要の前途 米國鐵市場は時局の推移と共に益々好況に赴き二十日某所への入電によればカーネギートラスト并にインチ物百斤に對し十七圓九十錢にトラスト反對側は十四圓に暴騰せる旨を報せり一方我國に於ける現相場は平均十二圓にして原産地に比し遙低價を深ち居れる状態にて然もカーネギートラストは十二月、トラスト反對は九月以前は積出不充分にして一方内地に於ける需要は最近著しく増加せるあり爲めに原産地の騰貴と相俟つて久しく沈衰の状態にありし鐵市場は最近相場十二圓を最低相場として今後益騰貴するに至るへしと云ふ。

